

目指す学校像

明日の登校を
楽しみに
できる学校



自主・自律 敬愛 協働

鶴中だより

鶴川中学校だより

第1号

2025年4月14発行

町田市立鶴川中学校 TEL 042-735-2405 FAX 042-735-2401

町田市立鶴川中学校

CLICK!

検索

1 ご挨拶

校長 大石 眞二

2025年度が始まりました。前任の鈴木英顕校長に替わって4月より鶴川中学校長として着任しました大石眞二と申します。「自主・自律」「敬愛」「協働」という教育目標に基づく校訓に根差した教育活動に、教職員一同励んでまいりますので、どうぞ本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、昨年度より中規模改修工事が続いておりますが、長期に渡り工事によりご不便をおかけすると存じます。エアコン稼働エネルギー源のガス化により、光熱費の削減と効率化が可能となります。工事に際しては、施行业者と毎週の打合せを行い、安全第一での作業をお願いしておりますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

2 4月7日(月) 始業式校長講話

校長 大石 眞二

おはようございます。そして初めまして。4月1日より前任の鈴木校長先生に替わり町田第三中学校から転任しました大石と言います。さて、二・三年生の皆さん、進級おめでとうございます。春休みは元気に過ごせましたか。部活動を頑張っていた人もたくさんいたことと思います。今年の始業式は桜が散るのを待ってくれたようですね。桜は硬貨では100円玉に、紙幣では千円札、二千円札、五千円札、一万円札と全てのお札に登場します。五千円、一万円札はホログラムという銀色のシールのようなところにデザインされています。また、桜の代表的な品種であるソメイヨシノは東京都の花に定められています。平安時代に作られた古今和歌集では、桜の歌が約1100首中70首と、素材としては圧倒的に多く詠まれており、1300年以上も前から日本人に愛されてきた花だということが分かります。お花見という文化も、日本の伝統行事として長く親しまれていますね。桜の魅力はパッと咲いてパッと散る、そんな潔さにあるとよく言われます。鑑賞できるのが短い時間だからこそ、より魅力的に感じるのかもしれない。「桜が散る」というのは、受験の不合格を意味するなど、よい意味ではとらえられていないようですが、散るからこそ愛されてきたとも言えます。

岡本かの子さんという大正・昭和時代に活躍した作家の歌にはこんな桜の歌もあります。

桜ばないのち一ぱいに咲くからに／生命をかけてわが眺めたり

桜が好きだからと言って、何も命がけで桜を觀賞しよう、なんて大げさな、と思うかもしれませんが。私もこの歌に出会ったときにそう思いました。しかし、この歌が関東大震災のあとに詠まれたと聞くと、この歌の別の姿が浮かび上がってくるような気がします。岡本かの子さんが鎌倉に滞在していたときに関東大震災が起り、東京の自宅は半倒壊してしまった

のだそうです。もし東京の自宅にいたときに震災にあっていたら、ひょっとしたらそこで人生は終わっていたかもしれない。桜の花を見ることで生命の重さ、生かされていることの意味を感じざるを得なかったのではないのでしょうか。私は旅行が好きで、先月末にも1991年に雲仙の噴火による火砕流や土石流が発生し、多くの犠牲者を出した長崎県の雲仙に行ってきました。土石流被災家屋保存公園という場所では、土石流により2階まで泥や岩石に埋もれた家屋を見ることができます。そして噴火による被害から34年経った今、被災した地域にも多くの桜の花が咲き誇っているのを見ることができました。桜が毎年美しく咲く、それは当たり前のように、決して当たり前とは言いきれないのです。人生は無常である。我々はそれを感覚的に知っているからこそ、桜の花に感動するのではないのでしょうか。

桜ばないのち一ぱいに咲くからに／生命をかけてわが眺めたり

桜の花でなくとも、出会いや当たり前のように思っている日常生活は、ある意味、全て一期一会の連続です。周りで「いのち一ぱいに咲いている」存在を尊く思い、敬意をもって生きる。その決意をもって命がけで向き合う。真剣に日々の生活を送る。2025年、令和7年という年も一回限りです。一回限りの中2の1学期、中3の1学期を、いのち一ぱいに咲く桜を見るときに気持ちのように、新たな出会いに敬意を払い、全力で取り組んでくれることを期待しています。

3月の修了式では、鶴川中を去る先生方にご挨拶をしていただきました。そして新年度からは私を含め7名の先生が加わることとなりました。このため、去年とは違う先生に授業を担当していただいたり顧問が変わったりする部活動もあります。去年の方がよかった、という人は、それはそれで素晴らしい人間関係を築けていたのだと自分を褒めてあげてください。そして今日からは、新しい担任やクラスメイト、新しい教科担任や顧問などと、去年以上に素晴らしい人間関係を築いていってください。

また明日からはI組の11名を含め147名の新入生が入ってきます。緊張して入学してくる新入生を、どうか温かく迎えてあげてください。先輩の背中を見て後輩たちは育ちます。ここにいる2・3年生が立派な背中を見せてくれることを、心から期待しています。

それでは2025年度も、元気に過ごし、いっぱい学びましょう。終わります。

3 4月7日(月) 着任式

始業式のあと、令和7年度の公立学校教員異動により、新たに鶴川中学校に配属となった教員が紹介され、一言ずつ挨拶の言葉を述べました。ようこそ鶴川中学校へ。これからどうぞよろしく申し上げます。

〈転入又は新規に着任した教員名(教科名)〉

大石 眞二(校長)／小林 竜也(保健体育科)／大宮 圭佑(英語科)

難波 真衣(特別支援学級)／中池 京佳(国語科)／黒木 美帆(数学科)

小野寺 有紗(家庭科)